

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	滋賀県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	草津市立草津第二小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	2	2	3	19	34
児童数	110	105	83	92	70	59	6	522	

研究の概要

1. 研究主題

子どもの瞳輝く「めだかの学校」プロジェクト ～交流する力が育つ授業づくり～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年	全学年
教科	国語科、算数科
<本年度>	
1年・算数科	繰り上がりや繰り下がりの計算等で、個人差が多く見られるため。
2年・国語科	音読や視写を取り入れて学習を進めるとともに、読み取ったことを交流する力をつけるため。
3年・算数科	かけ算や割り算でつまづく子が増え、少人数指導により子どもの伸びを確実にとらえるため。
4年・国語科	自分の読みをつくり、友だちの読みと比べながら話し合いを深める授業づくりを行うため。
5年・国語科	自分から進んで発言をしようとする子が少なくなるので、自分の考えを効果的に表現できる子を育てるため。
6年・算数科	小学校での学習内容を確実に身につけるられるように、個に応じた指導を推進するため。

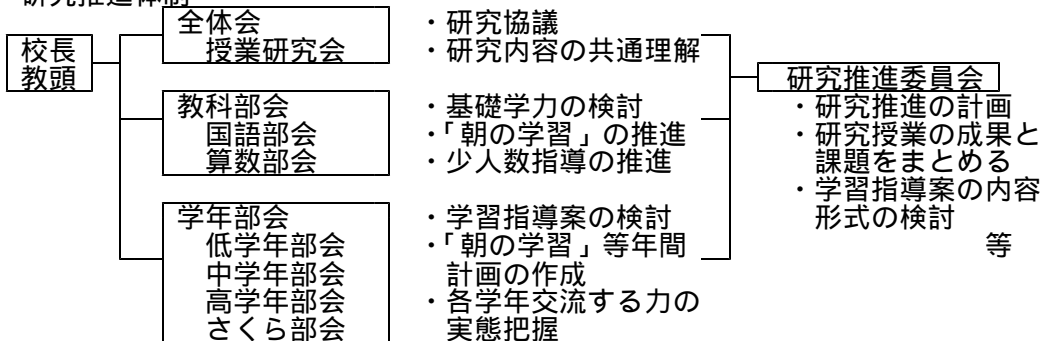
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	テーマ 交流する力が育つ授業づくり ・友だちとともに学ぶ子ども ・相手の立場に立って考えられる子ども ・確かに話したり聞いたりする力のある子どもの育成 研究の見通し(仮説) ・学習過程の中で効果的に交流する場面、活動を取り入れることによって、学び合うことを大切に、自分の考えを深めていく子どもが育つであろう。 そのために、効果的な交流の場を作り出すとともに、友だちと学習することで自分自身が伸びたのだという思いを高める必要がある。 研究の内容・方法 《内容》・子どもにつけたい力を構造化すること。 ・「交流する力」の系統表を作成し、系統表を規準として確かな交流する力をつけること。 ・聞くこと、話すことを基盤とした学級づくりに取り組むこと。 《方法》A.草津第二小学校の基礎学力構造表を作成する。 B.「交流する力」の系統表を作成する。 C.交流する学習形態のモデルを作る。 D.「朝の学習」の充実を図り、年間計画を作成する。
--------	--

平成 15 年度	<p>E 算数科を中心とした少人数による指導を充実させ、各学年2～3の事例を残す。</p> <p>F 国語科及び算数科の授業研究を通して、交流する力が高まる基本的な学習過程を作成する。</p> <p>G 一人ひとりに確かな学力が身についたかどうかを把握するための個人カルテを作る。(平成15年度は、個人カルテの項目づくりを行い、平成16年度より実施する。)</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 交流する力が高まる授業づくり 研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年度は、主に基礎学力(交流する力も含む)についての検討を中心に行ってきたが、平成16年度は、基礎研究をもとに具体的な授業づくりや教室づくりに生かしていきたい。研究の成果については、研究発表会を開催すること、事例を集め冊子にまとめることで普及したい。 <p>研究の内容・方法</p> <p>《内容》・交流する力を高めるための学習活動の工夫及び支援のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「朝の学習」におけることば(スピーチ)およびかず(計算)の充実を図る 算数科における少人数による指導の充実、及び国語科における課題別学習の工夫 <p>《方法》・各学年研究授業を1ないし2授業行い、交流する力の高まり及び基礎学力の定着状況を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「朝の学習」(かず)で活用する「数と計算」領域の学習プリントを作成する。 基礎学力個人カルテを作り、指導に生かす。
----------------	--

(3) 研究推進体制

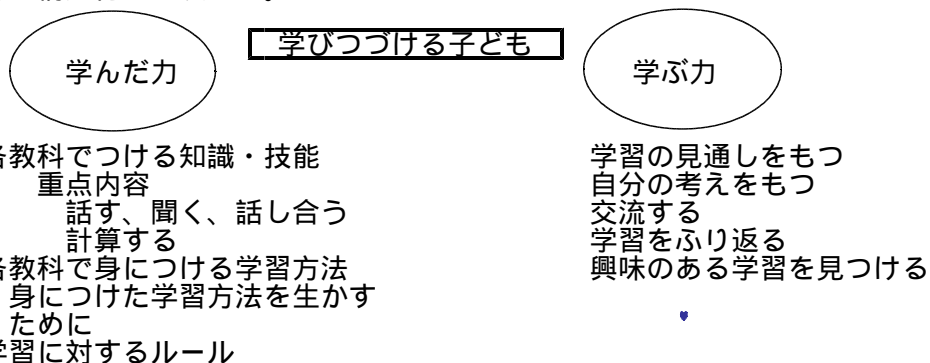


平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(1) A. 基礎学力の構造表の作成について

草津第二小学校の子どもたちに、どのような力をつけていくのか、その基本となる力を構造化して表した。



B.「交流する力」の系統表の作成について
各学年でどのような交流する力をつけるのかを明らかにする。この系統表をもとに、授業改善を行い系統表を見直すということをつづけていく。

《 系 統 表 例 》 (1 部)

	話 す	聞 く	話 し 合 う	ノート交流
第 1 学 年	先生に自分の言いたいことをはっきりと話す。 はっきりとした声で教室のみんなに話す順序を考えて話す。 話したいことをいっぱい見つける。	私話をせず、話を最後まで聞く。 話し手の方を見て黙って話を聞く。 話のだいたいを聞く。	友だちの話したことを復唱することがあったら質問する。 話題からそれないように話し合いに参加する。	友だちのノートや作品を最後まで読む。 分からないことを質問したり、一言感想を言ったりする。

第 2 学年
第 3 学年
第 4 学年

	話 す	聞 く	話 し 合 う	ノート交流
第 5 学 年	相手のわかりやすく伝えるために工夫して話す。 ・図や表を効果的に活用する。 ・事実と意見を区別して話す。 ・伝わりやすい構成を考える。 ・事例を入れて話す。 考えの根拠をはっきりとさせて話す。	話の要旨を考えながら聞く。 メモを取りながら聞き、話の構成をつかむ。 話し手の立場や意図を考えながら聞く。	話し合いの流れを整理しながら聞き、話し合いに参加する。 話し手のよさ(話し方、構成考え方等)を見つけながら聞き、話し合いをつなげる。	友だちのノートや作品の構成に目を向けその意図について考える。 友だちのノートや作品の改善点や自分に取り入れたいことを見つける。

第 6 学年

D.「朝の学習」の充実について

朝の学習 ・時間：毎朝 15 分 (8:40 ~ 8:55)
 ・内容：ことば スピーチを中心としたことばの学習 週 2 回
 か ず 前学年の復習および当該学年の重点内容の定着 週 2 回
 読 書 読み聞かせや自由読書を中心とした読書活動 週 1 回

《例》第 4 学年 「朝の学習」指導計画案

ことば	読書生活	か ず
<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの話のまとまりを意識して話す。 ・話の要点を意識しながら聞く。 ・似た点や相違点を考えて進んで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の記録を書き自分の読書生活を高めようとする。 ・読書に関わる活動を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の計算の定着 3 位数の足し算、2 位数のかけ算、1 位数でわる計算など ・割り算 3 位数 ÷ 2 位数 ・四捨五入

上記のねらいの下に、学期ごとに学習活動を記入していく。

- E及びF 少人数指導を柱とした交流を高めるための授業改善について
- ・算数科では、2～6年生については、すべての授業で少人数指導に取り組んでいる。(1年生は、複数教員による指導)

少人数による指導

- ・(一部)習熟度別学習
- ・等質集団による2分割
- ・課題別学習

学習の記録の充実を図る

- ・授業研究会を通して、交流する力が高まる基本的な学習過程を検討する。

つかむ

- ・学習のめあてをもつ。
- ・学習の見通しをもつ。
- ・考えを作る。

高め合う

- ・自分の考えを確かめ、友だちと交流する。
- ・自分の考えを深める。

あらわす

- ・学習のまとめをする。
- ・学習をふり返り、次の学習に生かす。

2 今後の課題

- ・一人ひとり確かな力がついているのか、個人カルテを作り活用できるようにする。子どものつまずきをとらえて、個別指導ができるようにする。
- ・国語科においては、本年度、課題別の少人数指導に取り組んでいない。学習形態および指導体制の工夫をいっそう図りたい。
- ・少人数による指導では、交流の仕方や学習環境の工夫等において、改善の余地がある。少人数だからこそ効果が上がることを確かめていきたい。
- ・「朝の学習」では、年間を見通した取り組みを行う。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学期末ごとに、すべての児童に学習のふり返り(学習の記録を書くこと)をさせている。少人数による学習のよさや課題について、学習の伸びを確かめることを中心に行っている。
- ・少人数指導においては、教師間で子どもの学習状況を十分に交流し、授業の改善を行っている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・「朝の学習・年間指導計画」「草津第二小学校の基礎学力一覧表」「交流する力の系統表」を作成し、配布する。
- ・地域や保護者に対しては、学校で取り組んでいることをまとめたパンフレットを作り、配布する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 5年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 TTによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無